

千尋の滝と屋久島の自然

永田小 四年 計屋 帆奈

千尋の滝は屋久島にある有名な滝で、多数の滝がある屋久島の中でも特によく知られています。屋久島中央部に水源を持つ鯛之川にかかる落差六十メートルの滝で、屋久島東部にそびえるモツチ岳の東側斜面に広がる巨大な花崗岩の岩盤を背景に流れ落ちます。その岩盤は縦二百五十メートル、横三百メートルにもおよび、千人の人が手をつないだほどの大きさにあたえられることから「千尋」と名付けられました。

永田小学校

滝の南側には展望台があり、車で簡単に訪れることができ、屋久島を代表する観光スポットの一つとして親しまれています。展望所は標高二百七十メートルにあり、滝を真正面から眺められるだけでなく、反対側には原集落や太平洋を一望できます。駐車場も広く、トイレには身障者用の設備も整えられていますので、どんな人でも安心して楽しむことができます。

とができる私の自まんの場所です。

さらに、この展望所からは「モツチ」4岳に登ることも可能です。標高九百四十四メートル

トルの山で、登山道を進むと照葉樹林帯から

杉の森まで、変化に富んだ自然が広がります。

途中には万代杉をはじめとした大きな屋久杉

もあり、登山者の目を楽しませてくれます。

また、この地は「げじべえの里」とも呼ばれ

ています。「げじべえ」とは「屋久島の太木

や老木に住む」と言い伝えられてきた木の精霊

永田小学校

のことです。木と共にぐらしてきた先人たち

の知えが思いを受けつぎ、これからの自然と

の共生を考えるきっかけとして、この名がつ

けられたそうです。

屋久島は鹿児島島の南約六十キロメートルに

位置し、世界自然遺産に登録されています。

島の約九割が森林で、九州最高峰の宮之浦岳

をはじめ、標高千メートルを超える山々が連

なり、「洋上のアルプス」とも呼ばれます。

縄文杉をはじめとする巨木や、数え切れな

ほとどの動植物が生息し、豊かな自然がみかぞえ。

北西部にある永田いなか浜は、季節になるとアカウミガエルの産卵地となり、多くの人々を引きつけます。中央部の宮之浦岳へは荒川登山口から登ることができ、その道のりには太古から生き続ける縄文杉がみかぞえられます。東部にある屋久杉自然館では、この地域の森が屋久杉について学ぶことができ、また、西部には「大川の滝」と呼ばれる、まるで雲

永田小学校

をつくように落ちる滝があり、こちらにも屋久島を代表する自然景観です。

このように、屋久島には千尋の滝をはじめ豊かな森と水に育まれた自然が数多く存在します。わたしは、そんな屋久島がとても好きです。そして、この島の自然を守りながら、これからも大切にしていきたいと思えます。